

●非住宅木造建築物の建築拡大に向けた人材育成と施主の理解醸成

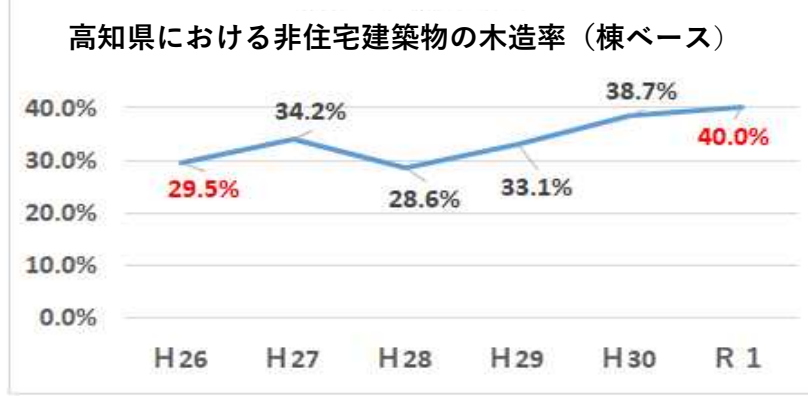
これまでの取組と成果

◆非住宅木造建築物とCLTの普及促進

- 普及活動(フォーラムの開催やパンフレットの作成等)による施主への理解の醸成
⇒県内CLT建築物:完成27棟、設計・施工中7棟(R2.12月末現在)
- A材を活用した木製品の開発
⇒構造用木製品の開発(3製品)、木製品の開発(7製品)
- 設計費、建築費への支援(補助)
⇒鉄骨造(S造)が木造に変更される事例
- CLTで地方創生を実現する首長連合
⇒令和元年度、全都道府県でCLT建築物が整備が実現

◆建築士の育成

- 林業大学校短期課程(リカレント・木造建築コース)の開催
⇒短期課程受講者数延べ2,309人(H30~R2.12月現在)
- 建築事例を通じて蓄積した技術やノウハウを普及する技術セミナー・研修会の開催
⇒CLTに取り組む県内の建築士や施工業者が増加
(設計者:6事業体 ⇒ 18事業体) (施工関係者:2事業体 ⇒ 19事業体)



CLT建築物 (県立林業大学校)



木製品の開発 (A型トラス)

全国の木材利用の動き

■経済同友会

- 地方創生に向けた“需要サイドからの”林業改革(H30.3)
- 木材利用推進全国会議の設立(R1.11)
・参加企業団体 324団体

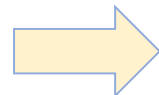
■全国知事会(国産木材活用PT)

- 国産木材需要拡大宣言 (R1.7)
- 建築基準法の改正(R元.6月施行)
○耐火構造とすべき木造建築の対象の見直し(緩和) など

木材利用に向けた、全国的な機運の高まり

課題

- ◆建築士等のさらなる人材育成
- ◆全国の施主や建築士にCLTや木造建築に関するさらなる理解醸成
- ◆需要拡大を後押しするさらなるサポート環境の充実



建築士等及び施主に向けた戦略的アプローチ

「集合型」及び「web活用」を組み合わせて with コロナ に対応した取り組みを展開

今後の展開

木造建築に精通した建築士等の育成

- ◆木造建築の普及促進
○フォーラム、技術セミナー、見学会の開催(県内・県外)
○全国の建築士団体等との連携による建築士の育成
※非住宅木造建築物に取り組むための入口として開催
⇒林業大学校へ誘導

- ◆林業大学校
○リカレントコース(スキルアップに必要な内容を自由に選択)
○関西における木造設計集中コース(中大規模木造建築の設計スキルを効果的に習得)

施主の木材利用に関する理解醸成

- ◆全国団体・自治体との連携
○経済同友会等との連携による施主の理解の醸成
○土佐経済同友会と連携した木造建築事例の拡大
○日本CLT協会等との連携による普及促進

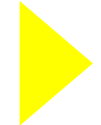
- ◆個別の営業活動(TOSAZAIセンターとの連携)
○企業、自治体へのプッシュ型の営業活動、具体的な提案活動
○希望企業での勉強会の開催(木の良さ、木造建築の特徴)

サポート環境の充実

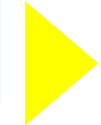
- ◆設計支援
○非住宅木造建築物への設計支援
○TOSAZAIセンターとの連携による設計支援
- ◆新たな技術の推進
○集合住宅の木造化、ハイブリット(RC・S造+木造)の建築物の推進
○技術・ノウハウのさらなる収集・蓄積及び普及
○TOSAZAIセンターに設置するプラットフォームを活用した新商品の開発

高知県の取組を全国へ発信・展開 (林業大学校のカリキュラムの提供等)

木材利用推進全国会議の活動を通して、各都道府県の経済同友会、行政が連携し、CLTをはじめとする木材を活用した建築物の整備を加速度的に推進



国産木材の需要拡大に向けた取組の全国展開



・全国各地で木が活かされ都市も地方も潤う社会を構築